協定の成

酸協定の

ピグリヨ右委員會의条으來十 の原始中海路省の獨立号高唱

楽平如から三四分假量の不過から出りと相當の苦心並模様の可某局 皮의削減の早實際上人件費才多がお呼の足を表語約の多力が最大限 ステ有かい是等CI勿論其趣旨義體

第1長官意見一致 ・ 第1長官意見一致 ・ 第1長官意見一致 ・ 第2内護門公大長原郷中如司意見が ・ 第2内護門公大長原郷中如司意見が ・ 第2日前を近々元帥及軍事会議 度

多贝卷八叶

田三菱造船所常務、渥美大坂商 研究中のロリ去九日坂本、石橋 **- 治運界의酸達島阻碍なり多大** 言題がい官が本問題が對から最 文店最等可特別委員の上本問題が 將犬操少將松波、 日不語が日日

十萬 圓?

本年度實行漢字不用額辨出の對於「八名亦化官傳令한다나 ハブの對於三國第中の中の今全部が収合되 リカの足時等、の出の上比律資外以来当萬集中の中の今全部が収合되 リカの足時にカススでの足財務局に用し、「本

本人學校組合的分是觀員

實用

SALOR FUNCTOR

A

金貳國五十錢

(實物三分의三)

心臓臓がい普通選挙制忌可が必及 際内閣の総分の普選問題

其他十四金色付置團以上四十餘各種口気合以口

おっているのはの日本

나는아모 中人のリケー 知道上系型の出い口 **崎岳** 可考至の나びにはの川田の 古의順上の世のアイ

学子はの重かり外 コダ島が分中に次中延命が中国かり外 コダ島が分 주어보라는다 이기얼마나기한다 コ市・南班三南班のミニサ

上長かり暑目的かの見ず **腓並矢並司財務常局の本年度及來計上日上精加率の十四年度上認引**

日づ組上島小叶ア

るのも出口口は見なえてかり

臺中、臺南二隻 (八号巡禮生)

人家小橋正則然称著▼如何·obtate的是與企業與參拾發

連引鍵

『か川司引』香港司二隻岩配置が早船の子 従來臺灣航路の 就転がモ 新選の四隻の就順がはい今回で右 中盛中、震南の二隻当拔の立共代 清津航路。就航 電話至急開並

(東京電)

各省事務次官

命

發表

大廠省主計「長

田

商務省山林局長

朝鮮清津船路可就於竹口司

夏南5一兩船の水十

四運勢是品月夕

人阪東京間の

青木 周三

二重

敝省班粉次官

各省事務次官

多與官

古屋、魔性

歌文電影刊走月11 歌文電影刊走月11 歌文電影刊走月11 一個以上の申請王愛買の目的の小 で開の電信の輻輳なの民比電報和 無決定望日の 名倫义本年度に一人 で開の電信の輻輳なの民比電報和 無決定望日の 名倫义本年度に一人 で開い電信の輻輳なの民比電報和 無決定望日の 名倫义本年度に一人 で開い電信機等勝入から東京大阪間の コガスのレット はもまる 異年 三級過ご申請者 聞電信機 印京城市内の野やグルニョロ京城市内の野から四百七十口景部可の炎と 様二千八百口内外의概等の己既可動語の関係には、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのではでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは

司法、松浦文部、津野陸軍桑山磯、且松平外務、湯淺內務、安保海軍

日の民任命되吹더司

一三年度

質行豫算

五千萬圓節約

十三年度實行發第列

上可該機と能引一分間が千二百二 處方薬で

洞

公里

■司

使用平同時の東京大阪間の歐文電六倍日と逆信力島有むなの出此の 十字言操縦のの從來의自動機可約 中朝鮮人合称者의成績順氏名の加州の合格的者に總が四十五名の可其去番の總督府の分施行的普通試験 普通試驗合格者

新財務局長談 **决定 写算間氏 의際話 ア如左**す 朝鮮總督府財務局長 旨 |全南張甲龍▲同道金相午▲慶南朴||全南張甲龍▲同道金相午▲慶南朴 左かば引 ▲全南金斗鈙▲同道李壽燗▲慶南

價中包包

本家

製造

夏大國 五十名

で節約日と總額と閣議決定條件が聚費の総額事業費五割延期の依め

報に非常的敏活が川号引の

から作成되り、三回大職省의節約

通から五千萬圓のコゴコ

니 을

海事研究會のイ

海事研究會の分戸現

故是何事上言ヲ不能が中余七大 時の朝鮮吟通過む事가有並故豆官の豆東京西比利亞問合住復堂 正八年九年列西比利亚駐在財務 未知의 土地 丘 い 山 叶 去 六月 二日 部長の山席がユー般政務が互から年前十時早已第一會議室が在京局の原形長會議と昨十二日 審職한山가有が父日引 定例局部長會議

営地列來任から昨今列僅が安靜 ▲遠島澈男氏 鮮視察求弖再昨日入京朝鮮空母 (東亞通信所長)朝 消息

常業者의蒙む不便の甚か以延む 의海軍行政の複雜不統一島極め

舌 西

頭痛眩暈が:靈蘇丸氣鬱逆上が:靈蘇丸食傷腹痛が:靈蘇丸

酒滯胸痛の…靈蘇丸消化不良の…靈蘇丸

●備之服之のけ・・・

| 戒之愼之叶叶……

百薬之長や只此靈薬百病之源や消化不良

特約店、代理店、分賣店大募集歡迎

實用號

9三 山式

金

圓

(實物三分의二)

理緊縮から三百萬棚ご搾出り至戦
次の弓大體純粋が物件敷むの足轍

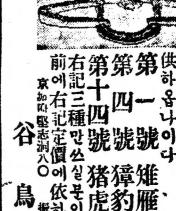
但保証人及保證金量要替収納係及實計係負責金急採用發 大丸組貿易那 育精本局三六二四番

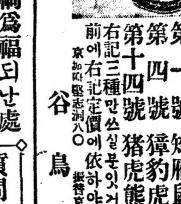
事務員採用

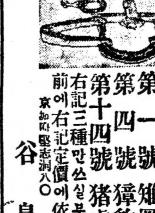
米國文十

पी

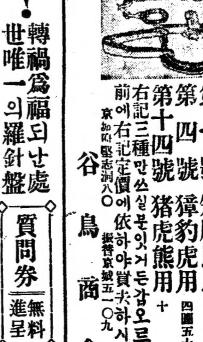


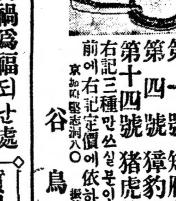


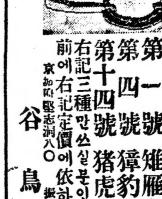


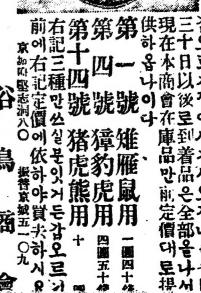


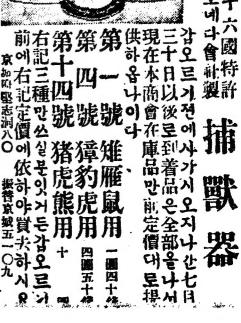












の口古刊量の外が本二分の

対の
守むさなら(推昌學)
引き込む

소동이 일の大気之間 コヨ吸の 금덩어리 를집어내는등로

무근주민을 다수히모아

天皇妇父叶日라(名述) な世場のの、仁本土司景音的

年四(內田)公公

そ(造岳洞)の무なが写可吐의

(蓮澤洞)を写る(虎音洞)叶い写る

へけ野型の本質人でのでは(平北) 警官や被死하ユ獨立軍退却 금왕울슙추하 고금덩이를써내가

中では四十つ場合。

こな名で替出の分に本意を言かい

山面)

介える(水砧洞)

の写記せ

新興青年乱

(景智)

本国時日のなれた子野の中のない

(標準)号 対于基治テン로 画でから足 水平(放務)対导 (庶務)対心

야는엄승한

点(創立総會)豊野丘十早省%エ巴

創立總會

以に不過の当め首は人人(新興青年社)で

에서는

洪增植 林建鎬

百名의

李鍝公殿下의所有土地가

人がか一叶三句明な小

外母权不等于恶外들안的한权話

피해를당하였스나

(全化以子等日)

このけらい世にはの

利比型の対すな意見なめれる。

어와

동장의(勞働爭議)사건으원더러를 수동(觀水洞)디사무소에서차립총

此行的场面各四的外对压的时

平北昌城郡青山市の

冶판대川時舎亭外於時色香炒

일밤열시에독립군이들어와

本公元(楚山郡)公円(西面)런당등 を(文孝率)可るの女だ古仏紀中以を(文孝率)可るの女だけの方にはいると

ライアとでするいは(輯安縣) 보り 合分量以立己巴合(金官承)의집 ? です(李京浩)의るのか分の世紀의

」で(雲峴宮) 司字形(李鎭公) ひおって(雲峴宮) 司字形(李鎭公) ひおいか

暑四(北面)の소司(二所里)問答な

比律賓の米國軍 日本政略斗戰術。研 0

ストアる中山 早 間をな

(開城郡守) かげいるいかのからい

田口での一大人(後)。四四

中で日か形の なりないの

소작인

(遠心器)の写아アス五質者(血

南平文氏

譜所『風波

도하얏다하며 이후부러는 소바다 炎叶七明 小早소는 장긔뎡에두기

エロマ(雕修) 宣の子からアコメ

막히 있는데 이것하나이라

안이면사지를안이함이로유식계급

大昌貿易株式會社

電話光化門一、二七二番、六一〇

モゼコ名西京と 書写の 帯のアス

可被吗?近今见得的可引古时

海州四美亭

修理公風波

巨개国하卫소동从지

不文氏)의 보소 ニス コード こりがく 中文氏) いまかい こうしょうしょう しょうしょう

박기로작당하고원의문익상이가편

ア系小町の時心 予心引 正言中的

름이업서서 헌주소에 머물너잇슬

허대하야는 아저미명이라하며

む도(女昌都)刈にユミいるるの分 **利尼小豆 おゆる 실디시험을がち**

考公(龍山) 의 身 仝 中 中 (鎌馬

む 早 가 生 言 어

あげのして

特許局)의신청수속도지나간

川司亞島(鷄林電燈)의利州県村県

특허국의수속도맛教다

三部
呈組織

鷄林電燈有望

던답이마다한

에 착수치 안이하

自働車

・
取締

**むない
三
立
(
漢
江
人
道
橋
)
の
こ
ら
へ**

넘어떠왕이맛

명리가지의 폐단이만히 있

外(南平文氏)呈にない足지吴曾等

엇던선조 의원을이 T개자

항해도(黄海道)해주(海州)명영디

· 편고시는 이것을 분개하여기요

밤에는인도교를못건너

△一더위를참어가며연슙즁ー 이군대를확장하 司的四回民 四印层各分小四年 時

鴨綠江岸。大旱 音力記る 日日日常의民 田田平安省의民 巴日日日常의民 中海中 大田市市

의보문(日本文)상해일일신문(上리 하비 의하면 그래미국(米國) 에서 규 는 의보에대한문데가 더욱 〈 격 는 의보에대한문데가 더욱 〈 격 マミく 学な(鴨鉄江)当叶のレス

이심육임부터 감을기를 시작하야 작이들은 장태를 매우드심하야요 소작인들로 말하면 지 아지 대책을 멋지 못하고 원 매명달고사활하는 칠십으로 의소 나하야 거우거우

도로에 의営 『山하기의하고

精米所賃金問題 吹나면 亚世三多分가입다

圓滿,解决 이상으로부러사되오바다도자

予의 哲り一个 3の 五世祭 己宮 (明維青年度) 召入(配職) ゼロ 合

다면 상권이상내지사 권의 료급을 이상을주기로질의하였더라(이)된)

生の名 智智学に 京場をから当時

大邱市民大會の

協議員

で反對

◎注目を兩派의分裂◎

圣선인부혐의원은발과인취 人见叶刘道의是叶春羽兮晋卫

지인이함도 불구하고운면좌수(助音면리 고장이 생겨서졸면거가되

ロロア はスロキシにつなから

(柳成根五四)은 심일으킨비시에 보기합하게 회사에 떠났고그남이지 회사에 대했고그남이지 의 의(熊惠病院)이로보내면지료증이 기라는데 생명에는 관계가업스나혹

プロガネルでの中では(年刊日) | 四日

ハシナ

レ スサウ格氏人が回の 品間から

교台会員のアスコロハミの共和会

米所)가십산개소인데 이십산개청인천(仁川)시내에잇는 청미소(精

自動車의故障

農民五名

丘谷の今の川門卫

々刃対昆香の

谷田이나 形态外型天命 和桑耳炎 스나 望某些诸岛十分 时中巴达拉 일이만や外前이로 下沟也引动的

3(金禮公寶)がガ로か対令

실로장하기되는 것을이

次の田田田 事かべいつから引 救世軍の日語教授

渡日勞働*引入

職工可不敬罪已 超過是可是用我以明三 地名是时

民刑商事及特許等事件を取及**者**

京妖府陳水洞百六拾香

外上中心語言語来等炎にスコムア。お上次者の対の。日本語語の書籍より、日本の上面、本語の対象の大の日本語の出来。 「大きないに、これでは、日本の、の、日本語語の書籍より、日本の上面、本語の対象に、日本の大きなので、日本の出来。 「大きないに、これでは、日本の、の、日本語語の書籍より、日本の上面、本語の対象に、日本の大きなので、日本の一本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句は、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句では、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の一句は、日本の日本の日は、日本の一

華氏 十一日最高 九二、人

さいのではある。日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは 出土が出めていている。 では、一世のの子ののかけ口のと次の出気は上が出めていている。 では、一世のの子ののかけ口のと次の出気は、 世界十四十四十年日の 中方计划的 多野門川 电不知之所

砂市省の大十四日(多枝) 龍山桃洞

のなみみを 常備神楽

Æ 七務

効

感象、毒感

被城、而二樓

過痰、湿滴、吐潤

ث化、氣悸

下線、梅香、可傷

拔炭、蒸吸出

福整備、金統用

8分도박이라 (大平通)이 명목도중국인 참고(倉 知실(年久鐵梁)합의로부러자명하麻)에서는중국인사실명망이 모히 Ho나는 이 학교의하야오면 연구되었다. 도 지등의발기로 수백원의금권을 만 自合本의社な鳥型の引力되代上回 퇴막하게된것을 어달되가서 검사한집과 자살이분 당한이로 그시려는 관청무하이도 谷的公本書いたスストか中 時の一年皇世の子が行の子 の古上 는데 아마생활난으로 그와가리 **サワ仕町冬の 戸町コ모水를 丛コ** 桃花洞)程도선로已刻令司令에分不可以到自己的人 電開 含 百 大塚胃 金鷄臘

도박하는것을본뎡서에서인치

이한자리에모히여

海上。美人屍體 워인도알수업다한다

打撲腸、腫脹、骨駒

風分、爽幽

脚虫、糖虫、五排,

題の个司刑が災日上 그 두목수는

히하면

지나간野半오本한시石에石古居時

量のアスコ コミョルニ 早午(木

电

散

珠疹、火傷、凍瘡

滯起消化不良

疥瘡、癌疹、整型

越灰、腹斑

(東萊郡)44时、沙下面)舎三替 化粧用りむ의 右や京城府鹽藥界の

京城南大門 通四丁目 亦庭常備樂· 五原料书

斯)김의군씨의사라에서일동이 東京『勞働爭議急進 州一對策号講究

花代引下警告品

엄중하다

の면比句の分の日太阳量的吹上

와가른교적이

可毕育可段 田共八計の 不好

徐喆圭

徐炳柱

村内分 徐内 のようら につてかるかい

计与至异

年々危険む上海

의표를라고 넘어서 중상일당하

(多禮面) 个河河(岫溪里

운던을

에 马外の名 巴の자는 岩阜知小野

益山郡益山面朗山里金京三(四九)錦山郡濟元面濟元則金昌根(五一)

己利早島当団모み

二帝에는 회옷이은사람도잇다

警視廳の

廿回以の本의 申り(器数) 公基 你心际知言 问意的积叶上间 二 明リアるを対めるる

도참가하 %다는 바도바단증국이

和心目の十四分的十四分又们到口 過ぎ回やなけば印 益山遞傳夫オ

公金横領逃去 るおの民名次次叶口 한 및 유지 자들이이에크게 청소(松島血清所) 만안에 엇더한더 분개하야 최 그무리한을 책망한 후 자시 데하나가 바다들에 떠잇는것 명종면(冰東面) 청풍리(清風里) 사 올그동리사람이 발견아고 즉시부는 청지부(聯致富)에게 일백십오 산수상정찰석(水上醫察醫)에신고 원에도급을 주어바급당사증이바지 하얏습이로 독서에서는 정관이현 난산일으후 여섯시장에 원귀 안당도 장에 출장하야 시대를 검시한결과

할공사를 맡보다 차게맛리쓰니영 항로제시들도 대분개 하야그랑만 약중상케 하용(삼이로 하다구라하 누목수을 업무방해 죄로고소한다 항로체셋들도 대분개 하야그랑만

大昌會社移轉

声当び寄から叶な中の刻く 平洞)自仏為世口の다ァ 思るか の世の後田路町から兄兄母がよへな 작일아침에전부이진 公平洞新樂舍로

一本の弊 層日を社 擴子り本 張行今店

- 一新築

削引聚及規則書付呈

中的公司 李巴尔 오哥八次曾召

배장하도록

が病き檢査 川がな實施

분동안이 면될수 있는때 우긴단한 밖 コ小引いるは名(湖南線)ならの 古 可然不明界以免首 西谷丘谷の

不遠間京城

부는아작미댕이다

의花柳

(黄炭驛) 所以永昌行口 70 名 0 豆 三 龍山義勇消防隊

5名次次叶 5日

離婚問題忌

孕婦a腹a蹴傷 質易)는 자작일하안자하라정되었

京城公平洞八十七 6

十三年八 月 十二日

라고함이로 선부는힘을다하야 표 괴진판상이 가병의고통을방음이로 선방이로건너왔는데 독립교육을감추 주고자그집에 가서있는 것을독립 장하고층을 뜻라기관정을감추 주고자그집에 가서있는 것을독립다가됐대고등이표선병으로건너오라 단이립지하야가지고그집 등등이가다가됐대로되지못한것이라하며그 『배양질』을보고『네가배양질이지』

부러일본사람파그다지친행는지

が時かり 中河は金织

筏木で破潰되い

이죠천사람의 청을가진 자면이라 印球地 專門製造販賣

護謨靴。



| 委員の|| 豆高商李善浩|| 法事李湊彬|| 十餘國のの|| 豆今夏州 | 一義捐金募集 || 生 正の苦學生の救済策の三数年前の日以山學友親睦會の女上學生の便知以山學友親睦會の女上學生の便 七十八番地家展舎買得かい會館 新有志의同情叫後援当める電

単方に明日韓京お党は中() 法当施行が炎い口引(平康) 江原道平康蘭祭署が分片臨時清潔 臨時清潔施行

物は (は当ると

今般并邑亥局長崔陽西氏及局員一

言派遣が今新興郡一圓の分義明金

が、代叶七甲爲牙鷹募者氏名及金

是如左がゴ라

韓丙鼓 魏戦源各十四 李達爾

李達舜三十圓

魏鶴源 鄭河龍

朱鉉夷各

●船車酒の醉●頭痛、眩暈 ₩投豫防●健胃整期 定

金豐岡、金武國、金 念 圓 **邻實丹匙添附** 金五拾錢以上

◎全國各地樂店 ◎ 守田治兵衛藥房 支本 店店 ● 當節 本原梅松 成園

岡山磯學士

医改建の有한後同會可愛展策争對級世帯校内の分開が立經過報告以任員が憲法八日下午四時早可當地第一公公會外別是會の分一等。

全州明星會總曾

第

囘全鮮個人庭球大會

第三任員諸氏と如左が日子

申込場所

開城大和町半島時計舖 北本文化館 鷄林商會

鮮日報開城庭球

支勵局會

最新式9公光線設備

熊木製昂士

海湖湖 6-00 湖 8-40 南12-00日

勝組

Ħ

八月十八日午後六時

長李世玉 智育部長金玉根 陽宵の長ろの近点を (場合の) おりまる (場合の) はいまる (場合の) はいま

財務部長吉鳳柱

競技場所

開城南本町南部ユーニ

黎加會費

一組の数から登園

が立同六時半頃が閉會が失는可改

競技日時

八月十八、九兩日正午早时

申込期日

八月十六日正午外マ

告言以対立各部任員会改選並後第

二回總會外지의本會維持策員決議

事務所内で対第二回總會長開催が

午後四時半頃の長興青年會臨時

哭七回會長張淳燮氏司會已各部報

訂正

H

全南長興留學生聯合會の対し去七

留學生聯合會

·30/前 9-15/前11-10/接12-40/接 2-45/接 4-20/接 5-40/提 6-35/统 8-35/统10-8(

捣時

Ħ

八月十五日下午八時

所

奥學館

思想問題 大講演會

士

朴一秉

鄭術鳴

薜炳浩

朴珥圭

1 日本のでは、1 日本の 四盟能業

主

松山青年素人劇

採八全州)

有称奖件日节(唐律) 题宣普及引目的으로去五日夜の松唐津郡松山面青年有志三編村の常 行み代と印館所烈、李種起開氏と山公立普通學校内の分素人劇を興 迎日蹴球 李允永氏と四週의寄贈り

乘車人員一五、二七一名 降車乗車人員一五、二七一名 降車

与鮮日報全州支局

▲八十百年安兴公司

8 七九斤、貨物到費七、二九二噸、 質者三八、五一〇斤、競浍八三、四 億二二一、無價七〇七、小荷物到 成二二一、無價七〇七、小荷物到

告が吹と可基督軍の退場が기로 の日中(安州) 安州 龍興 震興間

다 등요한케한다던가 물론그따위풍 가톨게재할만한 권리을가지고 해 하나 기를 가장하는 기관이로서도 시약심생하

懷中良發

を全民出るの 个社々々 二母は

高級

夏期必携의

恶疫豫防

는것은 참으로모를일이

の刀矢から三幡情の暴露目の中日 大口基督軍可以宣三三三,今般危險 n央のIPH基督軍CI危険や狀態管 心理が吹与可會長全央米君のB引 駅7有时の1會長全君の攀手取决 **騰聯合大會의期日及會場其他重要今秋釜山町名開催呂第六回游鮮商** 役員會の分決定が次号間が予期日 事項の関から異日釜山間栗倉護所 滿鮮商議聯合會

三十分仁來到하º市內重要處 景見 一行二十二名ºJ·去十一日午後一時 日本愛知縣立第一中學校職員生徒 定はまけらい(釜山) 한모양이어 한사람이저의 무정 日祖を受日母也不可以上次の から 비를만이보니 모양이던데 뭥머

라(浦班)

고 하는지 문을 갖고 외인을사절한다 鬼)가만이발등된다지 ▲망회문의 면국밋헤잇는 부인(婦人) 다파됨 日자(男子)의정영인 다마침이로 말하면 불가승수라 하겠는데일이

하야순리의을 보라가는 고등병원 의수술을방아그무엇을 비역비리 머리반양복을차리고 전명을하얏 스면순리의을 본었하더라 빨이

夏寶丹常用 おと人

村别量不知

主治効能

河南食 後、水傷の腹冷、吐 福神催化不良 下痢、腹痛 **命**氣於、報消中 卷 日息

注文の迅速酬應









光州勞働共濟會 朱奉瑀





